

井手茜先生: Stroke (2010)41:00-00

“悪玉コレステロール、とにもかくにも下げれば勝ちか！？”

Coronary Heart Disease Risk in Patients With Stroke or Transient Ischemic Attack and No Known Coronary Heart Disease (SPARCL-Trial 続編)

【背景】2006年、高用量の atorvastatin で強力に LDL コレステロールを下げることで、脳血管イベントの 2 次予防効果、心血管イベントの 1 次予防効果を示し、一大センセーションを巻き起こした Stroke Prevention by Aggressive Reduction in Cholesterol Levels (SPARCL) trial。その後もサブ解析により新しい知見を出し続けているようですが、今回は、基礎疾患である脳卒中のサブタイプ別に、心血管イベントの一次予防効果について解析されました。

【方法】4731 名の心血管イベントを有しない脳血管動脈硬化患者 (TIA 有り or 頸動脈由来の脳卒中有り or 50%以上の頸動脈狭窄有り)を、80mg の atorvastatin 服用と placebo 服用群に割付け、約 5 年間、major coronary event(心血管死亡、非致死性心筋梗塞など)、Any CHD(安定、不安定狭心症も含む)、脳卒中再発の予防効果について検討されました。

【結果】今回の結果でも、80mg の atorvastatin を用いた aggressive なコレステロール低下療法は、その基礎となった脳卒中のサブタイプ (large vessel, TIA, Hemorrhagic, small vessel, unknown)にはなんら関係なく、とにかくコレステロールを下げれば、脳卒中再発だけでなく、major coronary event、Any CHD を同様に減少させることがわかりました。Placebo 服用患者の脳卒中の再発は、経年的に減少していましたが、major coronary event はほぼ横ばいで 4-5 年目にややリスクが高まることも示されました。

【結論】SPARCL は、LDL-C130 前後の患者を対象としていますが、昨年 5 月に河久先生に紹介いただいた JUPITAR は LDL-C<130 をさらに下げましょうという研究でした。今のところ、悪玉コレステロールは、下げれば勝ちのユニクロ戦争が続いています。(文責 阿比留教生)